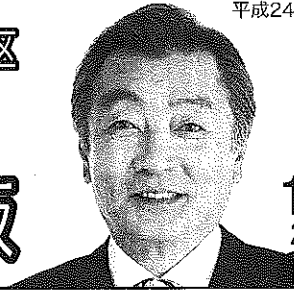




まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



平成24年11月

発行
かながわ
1区支部
編集長
平木 茂

11月号
2012年
No.119

松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp)

▶ 検索キーワード「松本純」

これでもなお「国」を任せられますか 民主党政権の3年間を検証する!

衆議院が解散し総選挙となりました。

この機会に民主党政権の3年間を検証してみたい
と思います。

民主党政権は「事業仕分け」で華々しくスタート
しましたが、16.8兆円の財源捻出目標に対して出てきた
のは約7兆円だけでした。それでもマニフェストで
約束した子ども手当や農家戸別補償などの「バラマキ
4K」を強行するため、自民政権時代は80兆円台だ
った予算を90兆円規模に膨張させて財政危機に拍車
をかけました。



「ミスター年金」の厚労大臣就任では年金問題はすぐにでも解決すると期待を抱かせましたが、改善を果
たせないまま、大臣は1年余で退場しました。以降、歴代内閣で「年金」が大きな話題になることはありません。
経済政策では「成長戦略の欠如」が決定的でした。円高・デフレが進み、民主党政権になってから50
兆円ものGDP（国民総生産）が失われたのです。野田総理は解散が迫る土壇場で最大1.3兆円の景気対策を
まとめるよう指示しましたが、苦し紛れの選挙対策以外の何ものでもありません。

外交・安全保障の分野での失政は総理が変わるたびに拡大し続けました。普天間問題で「トラスト・ミー」
と言いながらオバマ大統領を裏切り日米関係を破壊した鳩山総理。菅総理は尖閣沖の中国漁船衝突事件で早
々に船長を釈放・不起訴とし、福島原発事故に対する過剰な介入で現場を大混乱に陥れました。そして野田
総理は石原東京都知事の「尖閣購入」にあわてて突然国有化し、中国国内で起こった暴挙に何の手も打ちま
せませんでした。北朝鮮による拉致事件はこの3年間で何の進展もありません。

民主党の歴代内閣は行き詰ると「自民政権時代のツケを払わされている」という言い訳を繰り返してき
ました。しかし「自民党ができないことをやる」と大ミエを切って政権の座についた人たちがいまさら言う
言葉でしょうか。「野党が政策協議に応じないから…」というのも何度も聞きましたが、何より野田総理が
「政治生命をかける」と言った消費税増税に自民党は賛成しました。